

一緒に開けよう!
まちの未来へつづく

とびら



鹿嶋市議会HP

No.114 (令和5年9月議会を掲載)



翔飛
自分の決めた道に悔い
無駄な努力はない
笑顔は証
涙は印
痛みはヒント
チャンスは無限
己を信じて
我が道を進め
鹿嶋高校書道部

春陽煌めく今日
新たな夢を抱いて
友と歩む桜並木
三年間の高校生活
一秒だって見逃さずに
楽しもう
協和
同表
鹿嶋高校書道部

— CONTENTS —

- 特集 高校生×市議会・2・3
- 令和4年度決算……………4～7
- 常任委員会の活動……………8
- 議決結果……………9
- ここが知りたい! 一般質問・10～15
- きかせて! あなたの夢……………16

鹿嶋市議会だより



鹿島高校書道部



市議会

今回は、「とびら」の表紙作成に協力していただいた、鹿島高校書道部の生徒にお話を伺いました。表紙の写真は鹿島高校附属中学校の部員とともに「書道パフォーマンス」を行ったときの写真となっています。書道パフォーマンスは、音楽に合わせてながら、大きな半紙に文字を書くことで、とてもダイナミックな作品となっています。

きれいな字を

議員（以下議）部活動ではどのような活動をされているのでしょうか？

高校生（以下高）普段は、県展（茨城県高等学校総合文化祭美術展覧会）などの作品展に作品を出すために、書道の練習をしています。また、4月の新入生歓迎会で書道部のPRとして、書道パフォーマンスをしており、その際に書いた作品は校内に展示しています。

表紙の作品も、新入生歓迎会で書道パフォーマンスを行った際の作品になります。

議書道部に入学した理由は？

高字がきれいになりたい、書くことが楽しいと感じている生徒が多いと思います。

小さいころから書道を習って、中学校では別の部活動を経験しましたが、高校になって改めて字がきれいになりたい気持ちが強くなり、書道部に入

部をしました。また、書道パフォーマンスを知り憧れて入学した生徒もいます。

議書道部の活動で達成感ややりがい、楽しさを感じられる瞬間は？

高県展などの作品展に出品し、入賞することができたときに達成感を感じます。

また、ノートをとっているときに「ああ、いま自分の字、うまいなあ」と思えたりして、日常の中で小さな楽しみを見つけることができることです。

書道部に入ったことで、字を書くことが楽しくなりました。

議今回の取材の話聞いたときの第一印象は？

高素直な感想だと「なんだろう（書道部）なんだろう（笑）」

議市議会に対してどのようなイメージを持っていますか？





日常の中でも

高 内容も難しく、何をやっているかわからない。そんなイメージがあります。

また、若い世代がクローズアップされていない印象があります。

議 若い世代に市議会を知ってもらうためにどうしたらいいかアドバイスがあれば教えてください。

高 市議会議員がどのような方かわからないのでプロフィールが欲しいです。

また、どのような取組みをしているかわかりやすくなっていると伝わりやすいと思います。

若い世代に知ってもらうためには、話題になってかつ身近に感じてもらえることが重要かなと感じます。流行りのキャラクターとコラボしてみたり、斬新なアイデアに取り組んでもいいと思います。

議 自分の住んでいるま

ちの好きなところを教えてください。

高 工場地帯の夜景がきれいなことと、鹿島神宮やカシマスタジアムなどの観光スポットがあるところが好きなおところです。

議 市議会に何かご要望はありますか？

高 遊べるところが増えてほしいです！ 映画館やカラオケがあると嬉しいです。

神栖まで行ける電車などの公共交通も充実するとよいです。

議 ありがとうございます。

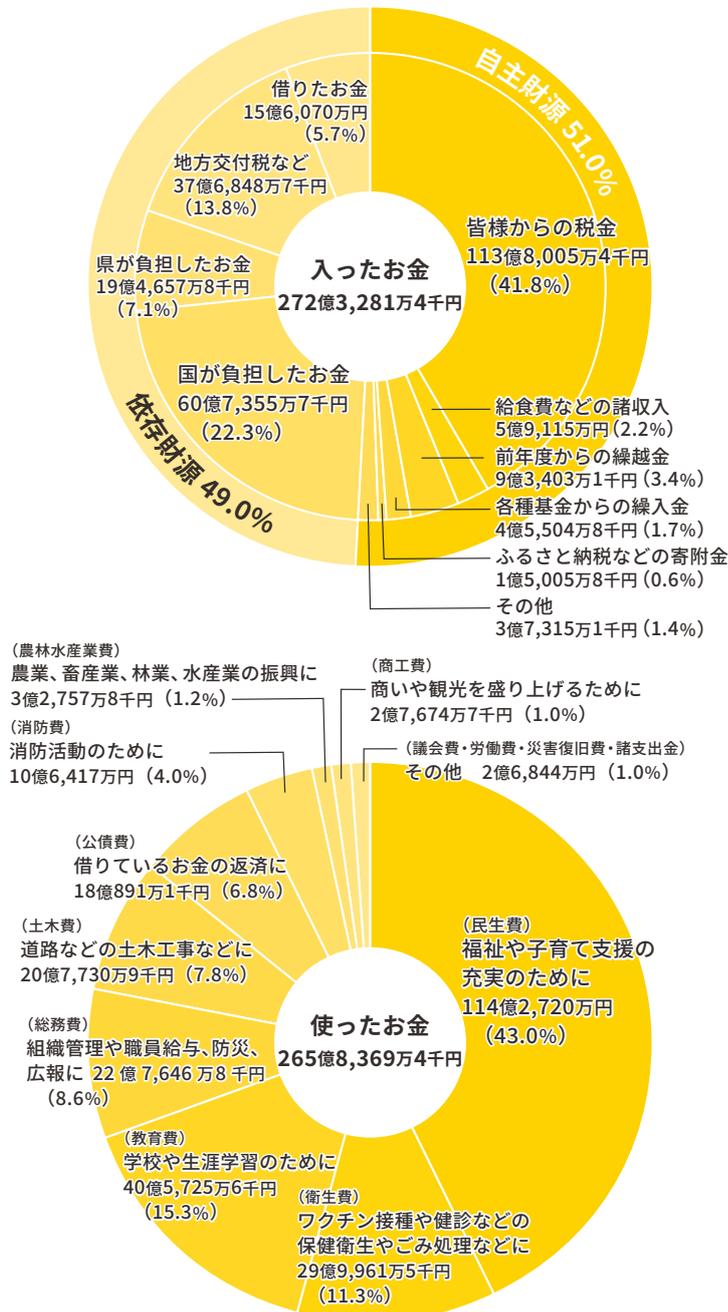


令和4年度決算から 一般会計の決算をPICK UP!

歳入総額 272億3,281万4千円 – **歳出総額** 265億8,369万4千円
 (令和3年度比17億3,733万7千円減) (令和3年度比7億7,242万6千円減)
差し引き額6億4,912万円 (令和3年度比9億6,491万1千円減)

翌年度に繰り越す(使い道が決まっている)財源3,297万3千円を差し引くと6億1,614万7千円の黒字(前年度比7億2,591万円減)となりました。約半分の3億1,000万円を※財政調整基金に積み立て、残る3億614万7千円を翌年度に繰越し(使い道がまだ決まっていない財源)ます。

歳入と歳出が去年に比べて減っているが……



歳入は……市税(皆様からの税金)は、企業収益の増などにより法人市民税が増となったほか、固定資産税のうち償却資産が東日本大震災復興特区等の課税免除期間終了等による増、太陽光発電設備の申告件数増による増、市たばこ税が税率の改定による増となったことなどから、税収全体として5億8140万9千円の増となった。その他の歳入では、地方交付税が震災復興特別交付税の減などにより18億7329万7千円の減、国庫支出金が児童福祉費補助金の減などにより8億2589万2千円の減、寄附金がふるさと納税の減などにより1億3859万6千円の減などとなったため、歳入全体では17億3733万7千円の減となった。

歳出は……教育費が中学校大規模改造事業の増や学校給食センター経費の増などにより6億1314万8千円の増となった一方、総務費がホームタウン推進事業の減などにより2億7018万6千円の減、民生費が子育て世帯への臨時特別給付金給付事業の減などにより2億155万1千円の減、衛生費が一般廃棄物広域処理事業の減などにより7億5663万1千円の減、土木費が都市再生整備事業(鹿島神宮周辺地区)の減などにより1億2872万9千円の減となったため、歳出全体では7億7242万6千円の減となった。

※【財政調整基金】大規模災害時や大幅な税収減などの緊急時に取り崩す基金

決算 審査

予算決算常任委員会の決算審査では、3つの分科会に分かれ、令和4年度の決算を詳細にチェック。7つの事業を抽出し、評価をしました。

【決算評価】 A:十分評価できる B:やや評価できる C:あまり評価できない D:全く評価できない

【今後の方向性】 **拡充** さらに充実して継続 **継続** 現在の水準で継続 **改善** 改善・効率化して継続

ピックアップ

港湾振興事業 決算額5,814万円



評価に至った理由

市は、「次世代も輝く雇用ある鹿嶋」を目指し、基地港湾を核とした洋上風力関連産業の拠点化を図る「鹿嶋市洋上風力発電事業推進ビジョン」を昨年12月に策定。鹿島港を最大限に活用し、地域産業の振興を図るためには、国や県に対する要望活動や新たな産業の創出・誘致は重要であることから、事業は有効かつ効率的であり、その費用も効率的と言える。

今後の方向性=継続

茨城県が作成した「鹿島港港湾脱炭素化推進計画」の基本方針である、アンモニアや水素などの次世代エネルギーの供給拠点化を、国や県、地元企業と連携しながら推進すべき。また、鹿島臨海工業地帯の在り方が変化している中では、地元基幹産業とは積極的に連携し必要な支援も検討し、本市の主要産業を確保するために必要な予算は、必要に応じて増加も検討すべき。



鹿島港外港の現地調査

ピックアップ

地域情報発信事業 決算額3,437万9千円



評価に至った理由

地域情報の発信を行う媒体のターゲットや目的達成に対する効果には不明確な点があり、費用面においても、行政情報発信委託料の割合が高いと感じるため、費用対効果の効率性については今後の検証が必要。

今後の方向性=改善

情報媒体の増加もあり、SNSの整理と質の向上が必要。リアルタイムや子育て世代をターゲットとした投稿等を増やし、双方向のコミュニケーションを取り入れ、特性を生かしたより効果的なものが求められる。費用面は、行政情報発信委託料の割合が高いと感じるため、広報活動経費との事業の統合について検討し、エフエムかしま市民放送株式会社の経営の自主性、自立性を高める方策も検討していく必要がある。

評価に至った理由

児童の自主的な学習を支援し、読書活動を提供するために必要な事業である。人件費の割合が大きいが、司書を配置することで、児童が利用しやすい図書館づくりやイベント等が充実されており、図書への関心を高め、読書習慣の定着につながっている。また、図書購入費用の少なさを電子図書館や中央図書館と相互貸借することで補っている。

今後の方向性=拡充

全学校図書館に司書が配置され、その取り組みは先進的で評価できる。また、図書貸出冊数などからも児童が活発に利用していることが効果として表れている。しかし、学校図書館司書が複数校を兼務するなど、均質に配置されていない状況であることから、配置等の改善を求める。



学校図書館経費(小学校) 決算額3,744万円

ピックアップ



B
拡充

観光行事費 決算額1,050万円

評価に至った理由

観光資源を市外にPRすることで、観光消費につなげていくための事業であり、イベント等での消耗品購入やチラシ印刷、観光PRの委託事業、鹿嶋市花火大会補助事業を行っている。サイクリングコースは、海岸及び湖岸線を堪能でき、鹿島神宮も経由することが可能となっているが、パンク時の支援やPR、コース整備等に課題がある。花火大会は、観光客へのPRが不足していることが課題である。

今後の方向性=拡充

PR効果を検証し、足りない部分は新たな取組を行う必要がある。サイクリングコースのPRであれば、大学自転車部やサイクルショップ等に売り込むことも必要。また、市民の健康づくりと関連付けた取組も検討すべきである。県主催等のイベント参加は、パンフレットを配架するだけでなくもう一步の努力が必要。マスメディアや芸能事務所の活用など、新たな観光PRによる取組を期待する。



サイクリングコース(海岸)の現地調査

評価に至った理由

既存建築物の積極的な活用を図るとともに、放置された空家による生活環境への悪影響を抑制し、持続可能なまちづくりを促進する事業である。本制度の詳細を知らずに利用できなかったという意見もあったことから、事業案内については改善も必要。しかしながら令和4年度においては、補助金交付件数34件、予算額に対して執行率100%の事業であり、必要性、有効性などは十分に評価できる。

ピックアップ



A
拡充

救急医療対策経費 決算額1億5,395万4千円

評価に至った理由

市では、医療体制の脆弱な本地域において、救急体制の維持・確保を図っている。市内二次救急医療機関からの聞き取りで、病棟の一つをコロナ専用病棟としたことで受入れ件数の制限につながっていたが、現在は回復基調にあるとの説明を受けた。医師確保については、病院の自助努力とともに、市の医師確保事業や寄付講座による公的資金が投入されたことで安定的な確保につながってきている。特に循環器医療については24時間365日体制が強化された現状から効率的な救急医療対策に結びついているものとする。

今後の方向性=拡充

救急医療体制の維持・充実を図るためには、市内医療機関に対しての支援強化は必要不可欠である。市内二次救急医療機関からの意見聴取では、コロナ禍の期間を含めて看護師の離職が増加している課題が挙げられた。医師確保のみだけでなく、看護師の確保についても喫緊の取組が必要である。また、搬送時間短縮に向けては、茨城県・消防署・関係機関等との連携などの改善に向けて継続的な取組が求められる。

ピックアップ



A
継続

既存ストック利活用事業 決算額900万円

今後の方向性=継続

空家は個人の持ち物であるため自己負担が基本であるが、困難な方々に対する支援は必要。そして空家による周辺住民への生活環境の悪化抑制が図られ、積極的な活用が可能であるのであれば本事業は大切な事業である。予算執行率を鑑みると市民ニーズも多くあることから、将来的には事業拡大についても検討する必要がある。



B

拡
充

空家等対策経費 決算額0円

評価に至った理由

空家等が地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることに鑑み、市民の生命、身体または財産を保護するとともに、その生活環境の保全を図り、空家等の活用を促進する事業である。令和4年度の相談件数は56件あったものの空家対策特措法による代執行となるような特定空家はなかったことから決算額は0であった。空家対策についてのパンフレットを作成し、配布するなどの取り組みは評価するが、空家所有者の意識啓発や空家バンクの登録状況、また空家に対する市民からの相談等の現状を踏まえると課題もあり、さらなる周知が必要。

今後の方向性=拡充

今後、空家は増えていくことが予想される。空家バンクはよい制度であるが、活用促進に向けた取組も必要である。また、後始末ではなく前始末していただくような働きかけについても調査研究していただきたい。そして、既存ストック利活用事業と関連が深い事業であることから、事業を統一することで効率化を図れる可能性もあるため、検討が必要。重要な事業であることから、民間事業者による新たな支援等の検討や、事業の効率化、職員体制の充実なども期待する。

決算審査のあり方 ～決算と予算の連動について～

予算決算常任委員会

決算審査（9月）

予算決算常任委員会の中で3つの「分科会」に分かれ、それぞれ事業の抽出をし、事業評価シートにより評価を行う。

事業評価シート

事業名	〇〇事業
評価に至った理由	
今後の方向性	

※P5～7を参照



予算審査（3月）

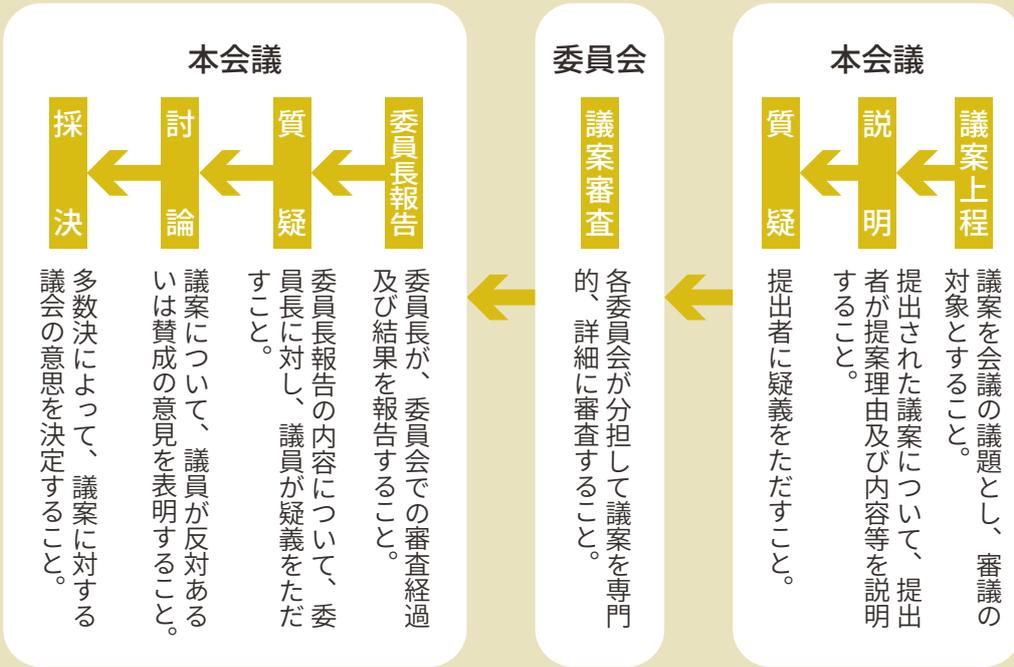
決算審査での評価に対して、改善すべき点や拡充すべき点が、新年度予算でどのように反映されているかをチェック。

評価

議会の評価をもとに、市長には事業の改善を進めてもらう。



議案審議の流れ



● 委員会の活動 ●

個人番号の利用に関する条例を審査

総務生活委員会では、1件の議案を審査しました。

主な質疑

■ 議案第44号 鹿嶋市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

問 けることはできなくなるのか。
答 生活保護はマイナンバーカード取得の有無にかかわらず、受給は可能。

問 マイナンバーカードを取得していない外国人の生活保護受給者へのカード取得推進の考えは。
答 取得率向上のため、定期訪問などに取得を勧めている。

問 外国人の生活保護受給者への対応方針は。また、働くことや帰国することを促すことはあるのか。
答 一般の日本国民の方と同様、身体面・精神面の体調を確認しながら就労し、自立していただけるように促している。帰国に関してのアドバイス・助言等は行っていない。

問 マイナンバーカードを取得していない外国人の生活保護受給者に対して、医療機関受診回数が適正かどうかの確認方法は。
答 長期的に医療が必要な方は、医者から意見書をいただき、妥当な医療が継続的に必要かどうか、嘱託医師に審査をしていただいている。

問 マイナンバーカードを取得できなかった生活保護受給者は、生活保護を受

採決の結果、議案第44号は全員賛成で、原案のとおり可決すべきであると決定しました。

総務生活委員会

令和4年度決算のほか、個人番号の利用に関する条例などについて審議

9月
定例会

8月31日～9月27日の28日間、令和5年第3回定例会が開催され、市長から12件、議長から2件の議案が提出されました。議決結果は次のとおりです。

議案番号	議案名	概要	結果
市長から提出された議案 12件			
議案第39号	令和5年度鹿嶋市一般会計補正予算(第5号)	歳入歳出それぞれ1億4,960万9,000円を追加し、総額243億9,092万3,000円とするもの。	原案可決
議案第40号	令和5年度鹿嶋市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	歳入として、繰入金12万円を減額し、国庫支出金12万円を見込み、歳出として、国民健康保険事業費納付金中医療給付費分1,000円を計上し、国民健康保険事業費納付金中後期高齢者支援金等分1,000円を減額とするもの。	原案可決
議案第41号	令和5年度鹿嶋市介護保険特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ1億754万4,000円を追加し、総額49億736万5,000円とするもの。	原案可決
議案第42号	令和5年度鹿嶋市下水道事業会計補正予算(第1号)	収益的収支は、既定の支出予算総額から、営業費用987万2,000円を減額し、総額14億5,280万円とするもの。資本的収支は、既定の支出予算総額から、建設改良費175万5,000円を減額し、総額12億2,809万9,000円とするもの。	原案可決
議案第43号	令和5年度鹿嶋市水道事業会計補正予算(第1号)	収益的収支は、既定の支出予算総額に、営業費用929万8,000円を追加し、総額17億5,420万5,000円とするもの。	原案可決
議案第44号	鹿嶋市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例	生活保護における医療扶助のオンライン資格確認の導入に伴い、生活保護法に準じて行う生活に困窮する外国人の保護の措置に関する事務に個人番号を利用するため、条例の一部を改正するもの。	原案可決
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	人権擁護委員候補者の推薦について、人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求めるもの。 ・本宮 和子 (再任) ・松岡 みち子 (再任) ・黒沢 正明 (新任)	原案適任
諮問第2号			原案適任
諮問第3号			原案適任
認定第1号	令和4年度鹿嶋市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について	令和4年度の鹿嶋市一般会計及び特別会計、鹿嶋市下水道事業会計並びに鹿嶋市水道事業会計の決算について、認定を求めるもの。	原案認定
認定第2号	令和4年度鹿嶋市下水道事業会計決算認定について		原案認定
認定第3号	令和4年度鹿嶋市水道事業会計決算認定について		原案認定
議長から提出された議案 2件			
議長発議	議員定数・報酬・政務活動費調査特別委員会の設置について	議会に求められる役割と責任を十分に果たしていくための、適正な議員定数、議員報酬及び政務活動費について調査研究を行うため、議員定数・報酬・政務活動費に係る特別委員会を設置するもの。	原案可決
議長発議	議会改革特別委員会の設置について	鹿嶋市議会基本条例の基本理念等の実現に向けて、市民に開かれた議会、自立した議会、効率的な議会を念頭に一層の議会改革を推進するため、議会改革に係る特別委員会を設置するもの。	原案可決



議決結果の詳細は、鹿嶋市議会ホームページで公開しています。



議員定数・報酬・政務活動費調査特別委員会 及び議会改革特別委員会が設置されました！

議員定数・報酬・政務活動費調査特別委員会

議会に求められる役割と責任を十分に果たしていくために、適正な議員定数、議員報酬及び政務活動費について調査研究を行います。

委員長	佐藤 信成
副委員長	立原 弘一
委員	池田 芳範
	小池 みよ子
	山口 哲秀
	菅谷 毅
	笹沼 康弘
	中園 薫
	加勢 誠

議会改革特別委員会

鹿嶋市議会基本条例の基本理念等の実現に向けて、市民に開かれた議会、自立した議会、効率的な議事を念頭に議会の改革を行います。

委員長	宇田 一男
副委員長	田口 茂
委員	根崎 彰
	栗林 京子
	舩井 明宏
	内野 敬仁
	横山 揚久
	樋口 龍章
	斉藤 裕樹

※議長・副議長は、両委員会ともオブザーバーとなります。

10人の
議員が
登壇！

ここが知りたい！

一般質問



質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問したり、あるいは報告、説明を求めたりするものです。

質問者		掲載ページ	質問者		掲載ページ
	池田 芳範	11		中園 薫	13
	内野 敬仁	11		佐藤 信成	14
	加勢 誠	12		横山 揚久	14
	立原 弘一	12		笹沼 康弘	15
	菅谷 毅	13		山口 哲秀	15

掲載した内容は、質問の一部を要約したものです。詳細は、鹿嶋市議会のホームページにある「議会録画配信」や「会議録システム」をご覧ください。

この二次元バーコードまたは各議員の顔写真下の二次元バーコードから一般質問の映像がご覧いただけます。



男女共同参画について

問 池田 本市の男女共同参画計画は第一次計画からスタートし、17年になる。男女の平等感や社会全体として理解は進んでいるが、市民の意識に変化はあったか。

答 市民生活部長 市民の意識変化を図る調査において、「男性は仕事、女性は家庭」の考え方に対し、「そう思わない」と回答した人の割合は平成26年度は57・0%だったが、令和元年度には69・3%になり、12・3ポイント上昇した。本市の取組も徐々に浸透し、一定の変化をもたらしているものと考えている。

問 池田 鹿嶋市地域公共交通活性化協議会の委員総数19名のうち、女性委員は1名にすぎないが、女性登用の考え方について伺う。

答 政策企画部長 鹿嶋市地域公



いけだ よしのり
池田 芳範 議員

共交通活性化協議会は、国土交通省作成の手引きに基づき、関係する団体や組織にほとんどの委員を推薦いただいている都合上、その団体や組織の人事配置の状況に左右される。本協議会は、多様な立場の委員による議論が必要であると認識していることから、引き続き女性委員の登用も念頭に各団体や組織と調整していく。

意 池田 公共交通の進展のためには、女性利用者からの意見、要望を取り入れる必要があるため、より多くの女性委員の登用が最低条件になる。

問 池田 男女共同参画課の設置についての見解は。

答 政策企画部長 男女共同参画社会の推進には、地域づくり推進課が所管しており、現行の推進体制は効率的かつ効果的な組織体制であると認識している。その一方、行政の組織体制は、市民サービスの向上を図ることができるとする体制とすることが基本であるため、諸課題を整理しながら、他自治体を参考に、その体制の在り方について慎重に調査・研究していく。

学校給食について

問 内野 学校給食の目的、目標は。

答 教育長 学校給食は心身の健全な発達に資するものであり、生きていくために必要な正しい知識と食習慣を身につけることを目的としている。健康の保持増進や望ましい食習慣、生命及び自然を尊重する精神を養うこと、伝統的な食文化についての理解を深めることなどの目標を掲げ、学校給食を実施している。

問 内野 無理やり食べさせない教育と、食品ロスの削減を両立させるためには、給食を好んで食べてもらう必要があるが、給食センターの取組について伺う。

答 教育委員会事務局部長 食育資料を教室内に掲示し、給食に関心を持ってもらえるように工夫をしている。加えて四季を感じる行事食、リ



うちの たかひと
内野 敬仁 議員

クエスト献立による給食の提供を行っている。また、動画等を用いて給食が様々な人々に支えられ提供されていることや食の大切さについて学習している。さらに、地産地消献立の実施や、郷土料理を提供する日本味めぐり献立を実施し、好き嫌いなく喜んで食べてもらえるよう、子どもたちの成長に寄与する給食の提供に努めている。

小中学校の校則について

問 内野 近年、ブラック校則が問題となり、全国で校則の見直しが進められている。学校によっては自主的に校則を変更する規定があるが、行う予定は。

答 教育委員会事務局部長 校則については、生徒指導提要进行に、児童生徒や教職員等の意見を聞きながら、学校長が制定、改定を行う。その見直しは、児童会、生徒会や保護者会といった場において議論等の機会を設けることが望ましいとされている。本市としても、学校の決まりづくりに児童生徒が主体的に関わることは教育的意義があるものと捉え、教育委員会として支援していく。



通学路の安全対策は

問 加勢 武井地区の通学路には、信号機のない横断歩道がある。危険な横断歩道への信号、縁石またはガードレール、グリーンベルトの設置が有効ではないかと考えているが、市の見解は。

答 教育委員会事務局長 児童生徒の安全は何よりも最優先事項として認識しているため、通学路の危険箇所について、関係部署と連携して積極的に国、県等の関係各所へ働きかけを行い、安全対策の手法を協議するなど、安全が確保されるよう努めていきたい。特にグリーンベルトの塗装については、安全対策として有効な手段であり、当該箇所の管理者である茨城県潮来土木事務所に働きかけていく。

熱中症対策について

問 加勢 体調チェックシートを導入し、保護者が子どもの体調をチェックし、提出することにもスポーツに参加する流れを取れないか。また、帽子の着用は直射日光から頭、首などを守るといふ絶大な効果が得られるため、少なくとも低学年の子どもたちへの着用は必要ではないかと考えるが、市の見解は。

答 教育委員会事務局長 チェックシートの活用については、積極的に周知したいと考えているが、大切なことは、保護者による我が子の体調管理や体調変化の気づきであり、その点を指導者と共有すること。また、各クラブチームや運営団体の熱中症に対する意識を高めていくだけでなく、保護者に対し、子どもたちの体調を管理することの徹底と無理して参加させないことの意識づけを促していく。

帽子の着用については、大変有効なものも捉えており、施設管理者や大会主催者などと連携を図りつつ情報を共有し、各クラブチームや団体の意識を高めていきたい。



鹿行広域水道について

問 立原 1県1水道とすることで、水道料金の値上げにつながる可能性はないのか。

答 都市整備部長 1県1水道は、茨城県が令和3年度から令和32年度までの30年間を見据え策定した茨城県水道ビジョンで掲げている目標であり、時代や環境の変化に対応しつつ、水質基準に適合した水を合理的な対価をもって持続的に受けることが可能な水道とされている。令和4年度より県及び県企業局、鹿行5市で構成されている鹿行広域圏地域部会が開催されており、水道事業の統合については、今後10年間は料金の統一を必要としない経営の一体化を推進し、その後20年間で料金格差を見直し、事業を一元化する計画であることを確認している。鹿行広域圏

新型コロナウイルスについて

地域部会で県が行ったシミュレーションによれば、鹿行地域が単独で経営した場合よりも経営の一体化を進めたほうが、受水費が下がると想定されている。

問 立原 みんなを守る、自分を守るという点から、マスクの着用を呼びかけるべきだと思いが、市の見解は。

答 感染症対策担当参事 マスクの着用は、国方針の下、行政が一律にルールとして求めるのではなく、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることが基本とされた。このため、市としては、市民の皆様に対し一様にマスクの徹底を求めることはできないと考えている。ただし、マスクの着用が効果的である場面、たとえば医療機関を受診するとき、医療機関や高齢者施設などへ訪問するとき、混雑した電車やバスに乘車するときなどについては、引き続き市民の皆様に対し周知を図るとともに、推奨していく。

マイナカードについて

問 菅谷 国は「誰一人取り残さないデジタル化の実現」と言っているが、マイナンバーカードをめぐる種々の障害が明らかになってきた。マイナンバーとのひもづけによるミスが社会問題化し、国は11月までに総点検するとしているが、かかる費用は国が負担するのか。

答 総務部長 総点検にかかる費用については、システム改修の経費を要する場合が想定されるため、点検状況等を見極めつつ、自治体に対して十分配慮する旨、国が策定した総点検マニュアルには記載がある。ただし、職員の点検にかかる人件費等の詳細については、現段階では不明となっている。

問 菅谷 マイナンバーカード兼保険証の更新時に本人確認が必要にな

ると、現在の自動交付される保険証に比べて市民の負担になるのではないかと。

答 健康福祉部長 現行の保険証が廃止されることにより更新は不要となるが、保険証として利用するマイナンバーカードは本人確認を伴う更新が必要である。自動的に手元に届く現行の保険証と比較すると、市民の皆様には新たなご負担をおかけすることとなるが、ご理解いただけるよう周知に努めていく。

人材確保・育成について

問 菅谷 民間経験者の採用を促進するため、中途採用者や技術職・専門職の処遇改善を検討しているか。

答 総務部長 全国的に民間企業等職務経験者の採用計画を実施する自治体が増加傾向にあること、処遇面についても、国家公務員においては、民間からの転職を促す取組が広がりつつあることは認識している。本市についても、専門的な知識経験を有する人材を確保するための採用試験や処遇面での運用など、他自治体の事例等を参考にしながら検討を重ねている。



菅谷 俊之 議員

小学校の統廃合について

問 中園 少子化に伴い、鹿嶋市でも小学校の統廃合は必要だと考えるが、市の考えは。

答 教育長 学校が適正規模に満たないからといって、すぐに考えるものではなく、子どもたちにとってどのような教育環境が一番よいのか、どうあるべきかを第一に考えることが重要。そのため、当事者である子どもたち、その保護者の意見が最優先であり、慎重に対応すべきものと考えている。しかしながら、新入学生がゼロだった小学校もあり、このような状況が続けば、学校としての存続が難しくなる。今後多額の財政支出を伴う改造工事の時期を迎える小規模校もあり、統廃合も選択肢の一つとして検討していく。



中園 薫 議員

金融リテラシーについて

問 中園 経済や金融、投資などの教育についての現状は。

答 教育委員会事務局部長 成人年齢が引き下げられた背景から、学校教育における金融教育の定着と質の向上が求められており、消費者に関する教育内容の一部として、金融教育が位置づけられている。小学校では、主にお金の役割や働くことの意味、望ましい消費生活などについて学び、中学校では、市場経済の基本的な考え方や金融機関の役割、金融政策や為替等について学んでいる。

東関道の延伸について

問 中園 東関道の鹿嶋神栖方面延伸について、国などへの働きかけ、また延伸実現に向けて動きはあるか。

答 都市整備部長 鹿行5市の市長及び市議会議長で組織している東関東自動車道水戸線潮来鉾田間建設促進期成同盟会において、道路延伸を明確化した要望活動を行っている。今後についても、あらゆる活動を積極的に活用し、国、県や近隣市と連携しながら、要望活動を実施していく。



さとう のぶなり
佐藤 信成 議員

市医療費助成について

問 佐藤 指定難病特定医療費受給者証の発行を受けた難病患者の方に福祉手当年額1万円が支給されているが、県内では一番低い。以前は3万円ほど支給していたとのことだが減額した理由と時期は。

答 健康福祉部長 平成20年度から年額3万6000円を支給してきたが、その後国で指定難病に関する医療費助成制度の対象が拡大されたことや福祉的な意味合いでの支援の広まりもあり、平成27年度からは年額2万円へ、令和3年度からは1万円へと段階的に減額した。

問 佐藤 月額1万円、3万円の医療費は大きな負担だ。以前の金額を支給していただきたいと考えるが、市の考えは。

答 健康福祉部長 限られた財源で効果的に配分するためには、最も効果的かつ効果的な事業の選択と集中が必要となるため、難病患者福祉手当の増額についても、財政状況を見極めつつ検討していく。

障がい福祉計画について

問 佐藤 来年度予定の第7期障がい福祉計画の策定に、難病者を参加させていただきたいと思うが、可能か。

答 健康福祉部長 既に鹿嶋市地域自立支援協議会委員による策定作業に取りかかっており、新たな委員追加は考えていないが、改選の際には、難病の方のご意見等も反映できるように検討していく。

問 佐藤 障がい者や難病者の職員採用に関して、在宅勤務や働き方の改善等、就労支援を含めた計画策定も必要だと考えるが、市の見解は。

答 健康福祉部長 障がい者福祉計画においては、障がい者雇用に関して明記している。また、その見直しでは、在宅勤務や働き方の改善と障がい者雇用に関するより具体的な内容の明記についても検討していく。



よこやま やすひさ
横山 揚久 議員

小児科医療について

問 横山 小児科専門医療の拡充及び鹿行地域で相互協力する広域医療体制を築き、運用することは可能か。

答 健康福祉部長 茨城県の人口10万人当たりの小児科医師数は全国最下位であり、小児医療機能の充実は重要な課題である。また、地元医師会をはじめ、各医療機関、近隣自治体と協力しながら鹿嶋市夜間小児救急診療所を365日間通しての運営に努めている。引き続き、円滑な小児医療連携体制の充実に努めていく。

問 横山 重度身体障がい児童に対する介護施設の現状と今後の予定は。

答 健康福祉部長 現在、児童発達支援事業所が1事業所、放課後等デイサービス事業所が6事業所、両方を実施している多機能型事業所が8事業所ある。また、重症心身障がい

児を受け入れ可能な事業所が、近年2か所開設した。これらの事業所は、看護師等も配置されており、重度の障がいを持つ児童も安心して通所できる施設となっている。11月にも多機能型事業所が1か所開設予定となっており、順次充足している状況。

熱中症対策避難所は

問 横山 市内に熱中症対策の避難所の設置が必要不可欠と考えているが、公民館や大規模商業施設等を熱中症対策避難施設として、開設することはできないか何う。

答 市民生活部長 指定暑熱避難施設の創設については、公民館等の冷房設備を有する施設を、クーリングシェルターとして、市町村長が新たに指定できることとなった。この改正法は、2024年の春頃に施行される見通しで、熱中症対策としては、国の動向に合わせて公共施設のほか、商業施設についてもクーリングシェルターの指定等を含めた適切な対応について、関係部署と連携を図りながら調査検討していく。

部活の地域移行について

問 笹沼 教師の業務負担軽減、生徒数の減少による子どもたちの体験機会の減少など、様々な社会的背景がある中で、中学校の部活動の地域移行が進められていると思うが、部活動の地域移行についてのメリットとデメリットは。

答 教育長 メリットは子どもたちの選択肢が広がる点であり、希望する活動を選択できる環境が整えられる。そして部員数の減少等により、廃部の危機にある種目についても、活動することが可能となる。さらに、その種目を専門とする方が指導することで、技術力が向上するなど、より充実した活動が期待できる。また、部活動に割かれる時間が減ることで、教職員の負担軽減となる。



課題としては、指導者の確保に苦勞する状況が想定される。また、指導者への報酬など経費が必要となるため、この点が原因で生徒間格差が生じないよう対応が求められる。ほかに、活動の拠点への移動手段やスポーツ施設の確保などが課題となる。今後も協議を進め、子どもたちがスポーツや文化活動を親しむことができる機会と環境を確保するため、地域部活動への移行を推進していきたい。

問 笹沼 部活動の地域移行スケジュールは。

答 教育委員会事務局部長 令和7年度末までに地域の実情に応じた、可能な限り休日の部活動について、教職員の関わりをなくし地域活動へ移行することを目指している。具体的には地域部活動を総括するコーディネーターを決め、そのコーディネーターは指導者や活動場所を確保し、施設使用料、指導者報酬等の調整を行い、参加者負担金等を決定する。これらを順次行っていくのが大まかなスケジュールとなる。

奨学金返還支援制度は

問 山口 大学生の2人に1人が奨学金を利用している。利用者の負担軽減に向け、一定期間定住し、就職する等の条件を満たせば、奨学金の返済を自治体が支援する制度の実施について、市の見解を伺う。

答 市長 奨学金返還支援制度は、若者の経済的負担の軽減が図られるだけではなく、若者の地方定着に加え、たとえば医療や福祉分野における人手不足の解消といった地域課題の解決にも寄与すると考えている。市の財政状況により、現時点で実施することは難しいが、先行事例等について情報収集を行い、調査研究をしていく。

こども誰でも通園制度は

問 山口 専業主婦家庭も利用でき



る、こども誰でも通園制度を創設すべきと考えるが、市の考えは。

答 教育委員会事務局部長 保育士の確保や要配慮児への対応等により、定期的な一時預かりの実施は厳しい状況にあるが、今後、少子化等により、空き定員が増加していく見込みでもあるため、提供体制の状況を見極めながら適切に実施していく。

医療費の適正化について

問 山口 糖尿病の重症化から人工透析へ移行すると、生活の質の低下や社会的、経済的損失など重大な影響を及ぼす。一人でも多く食い止めることが医療費の適正化につながるかと考えるが、市の認識を伺う。

答 健康福祉部長 糖尿病は早期発見、介入することで市民の※QOLの維持や医療費の適正化などにつながるかと考えている。本市では、人工透析の原因疾患として糖尿病は57%を占めていることから、糖尿病の発症予防、継続治療、合併症予防については市民の皆様に対して、情報をお伝えする中で、重点的に対策を講じる必要があるものと認識している。

※QOL…人生・生活の質



—鹿嶋っ子の夢、
応援しています—

**きかせて！
あなたの夢**



**社会の役に立つ
人間になりたい**

僕の将来の夢は、社会の役に立つ人間になることです。今は、医者になりたいと思います。きつかけは、自分が病気やけがをしたときに治してくれる医師をみてすごいと感じたからです。

僕には2人の兄がいます。2人とも目標に向かって全力で挑戦しています。僕も夢の実現のために中高一貫校への進学を目指して勉強をしています。

中学校に入ったからテニス部に入って文武両道で夢に向かって努力したいです。

大同西小学校は今

年で100周年記念になります。好きなところは図書館から見える景色です。好きな行事は運動会です。6年間最後の運動会で紅組の応援団長になったので、一致団結し勝利に向かって頑張りたいです。

僕は鹿嶋市が大好きで、最高だと思っています。夢を達成するためにも鹿嶋市張っていききたいと思っています。

夢は見なければ叶わないと言います。「有言実行」大きな夢ですが、夢の実現に向かって頑張ってください。

(小池委員、加勢委員)

議 会 T O P I C S

「議会報告会」開催決定！

開催日 ▶ 2024年1月27日(土)
会場 ▶ 鹿島地区：鹿嶋市役所3階会議室
10:00～
大野地区：大野ふれあいセンター2階会議室
14:00～
議会活動を知っていただくとともに、市民の意見を市政に反映させるため開催します。どなたでもご参加いただけますので、お気軽にご来場ください。

傍聴にお越しく下さい！

市議会の本会議は、どなたでも傍聴できます。ぜひ、審議の様子を直接ご覧ください。傍聴をご希望の方は、会場入口の傍聴者名簿にお名前とご住所をご記入してお入りください。



鹿嶋市役所3階議場

- ◆**広報広聴委員会**
- 委員長 内野 敬
 - 副委員長 小池 明
 - 委員 横山 みよ子
 - 委員 中野 久
 - 委員 樋口 薫
 - 委員 齊藤 裕樹
 - 委員 加勢 誠

編集後記 小池みよ子

熱い暑い夏でした。そして秋です。例年より3日遅く、10月5日に富士山に初冠雪が観測されたとの報道がありました。暑さの中にも季節は着実に進んでいます。熱中症と同時にコロナにインフルエンザの流行、諸物価の高騰と苦難の年でもあります。議会はと言いつと、9月は決算の秋でした。「入るを量りて出ざるを制す」その言葉通り堅実な決算でした。私たち市議会も、皆様の声に耳を傾け歩んでいきます。

次回定例会は**12月6日(水)**開会予定です

12/6(水)	本会議：開会
12/12(火)	本会議：一般質問
12/13(水)	※14日は予備日
12/14(木)	
12/15(金)	本会議：質疑、委員会付託 予算決算常任委員会
12/18(月)	予算決算常任委員会
12/19(火)	常任委員会
12/22(金)	本会議：委員長報告、討論、採決、閉会

※変更の場合があります。詳細はHPでお知らせします。
<https://www.city.kashima.ibaraki.jp/site/19gikai/3297.html>